

平成26年2月17日(月曜日)

第1号に岡山の(株)三謳

王子製紙プロジェクトを選択

コベルコ「カーボン・オフセット」始動

コベルコ建機(藤岡純社長)は、昨年11月埼玉県で開催された「森林・林業・環境機械展示実演会」において環境省が運営するJ-VER制度(温室効果ガス排出削減・吸収プロジェクト)を利用した「コベルコ・カーボンオフセットプログラム」を発表。この度、プログラム対象の第1号として、王子製紙グループが発行している岡山県社有林の間伐促進プロジェクトを利用したカーボンオフセットを実施。同県で森林施業を営む三謳(岡山県真庭市)の母里(もり)靖浩社長に、国内間伐材で作られた同社発行の「カーボン・オフセット証明書」を手渡した。

コベルコ建機「東京部」プログラムはコベルコ「果ガス(CO₂)」の「カーボン・オフセット」に利用する森林吸収クレーンが開始した「コベルコ・カーボン・オフセット」稼働により生じる温室効果ガス削減に貢献する。しかも、カ



カーボンオフセット証明書を受け取る母里社長(右)



現場で稼働するSK135SR-2F



王子木材緑化の池内主任

大きな特徴だ。

第1号となった岡山県真庭市の三謳は平成元年創業で主に岡山県内の国有林の施業を主に事業を展開。運送業からスタートしたと言いつが、今やプロセッサなどを装備した林業仕様機12台の他にフォワーダ4台とトラック5台を保有し、今期の生産量は1万5000立米を越えるなど順調に伸びている。母里社長は更なる事業の拡大を図るべく今年1月にコベルコSK135SR-2Fフェラパンチャザウルスロボ仕様機を導入。その際に「コベルコ・カーボンオフセットプログラム」を提案し、岡山県と繋がりのある「岡山県王子製紙間伐促進プロジェクト」を選択することとなった。100先の地球を守る森創りを「ヴィジョン」に掲げ美しい山林を育てることに情熱を注ぐ母里社長は、「環境に配慮した機械の開発と共に、こうした林業現場に貢献できる取組みを是非広げたい」と述べた。

「コベルコさんの機械は燃費も良いし、静かだし足も強くて良い。林業は山の中から木くずがラジエターにいっぱい詰まる。中でもプロセッサでの作業では細かい木片が飛び散るが、コベルコさんの機械はその心配がなくフィルタもワンタッチで外せて簡単に掃除ができるのがいい」と独

自の冷却システム「IN-DER」を絶賛。また、今回装着したフェラパンチャザウルス(松本システムエンジン)は1台で3役をこなすので作業効率が高まったとアタツチメントとのマッチングも高評価。

8年前から月1回地域清掃を実施していることから環境への意識が高く、コベルコ建機の新たな取組みについても高く評価していた。「うちらも日頃からCO₂削減など環境を考えた間伐作業を行っているだけに良いも興味を持たれていた。

その後、今回対象プロジェクトとなった王子製紙岡山県業作社有林を王子木材緑化の池内政夫米子営業所主任の案内で見学。地域特有の苦労はありながらも丁寧に森林整備をされている様子を知った。また、同社プロジェクトを支援して頂いた三謳さんには大変感謝されており同社の地域に根差した森林施業に関して